

エリアプラットフォームって何？



刈谷駅周辺 エリアプラットフォーム

設立の目的

刈谷駅周辺エリアプラットフォーム(通称、カリぱら)は、刈谷駅周辺で市役所など(官)と、周辺住民や企業など(民)が連携して、策定した未来ビジョンの実現に向けた活動を通じ、まちの回遊性や価値の向上を図る。

エリアプラットフォームの役割

- 未来ビジョンの策定
- ビジョンの実現に向けた調査、検討及び事業の実施
- 刈谷駅周辺のまちづくりに関する情報共有と意見交換
- 目的を達成するために必要なこと

■ エリアプラットフォームの取り組みについて

| 活動の大枠 | 人々が感じている課題 | 課題の解決方法(仮説) | 具体的なアクション |
|---------------------------------------|---|---|---|
| にぎわい を生む 仕掛けづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・昼に人が歩いていない ・学生や若い人が行きたいと思う、娯楽施設や飲食店が少ない | <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかを歩いたり、買い物をしたくなるような意欲を向上させる仕掛けを作る | <ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動 ①刈谷駅周辺の清掃 ②南桜街園などでの花植え |
| 憩い と 滞在 を誘う 空間を創出する | <ul style="list-style-type: none"> ・長時間いたくなる場所や、家族で行ける場所が少ない ・勉強できる場所が少ない | <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる人々が利用できる憩いの空間づくり ・子供の遊び場づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・公共空間の活用 ①活用案のコンペ開催と実施 ②実際にベンチを置いてみる |
| 移動 を快適にする 空間の演出と モビリティ強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が混雑している ・車の渋滞がある | <ul style="list-style-type: none"> ・新たなモビリティを使った移動の利便性を考える | |
| 安心、安全 な 環境の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化が進んでいない ・治安が良くないと感じることがある | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者でも安心して利用できる環境づくり ・災害時に避難する導線の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方が溶け込めるまちづくり ①アンケート実施しビジョンづくり ②野外映画祭の開催(案) |

■ 具体的なアクションについて

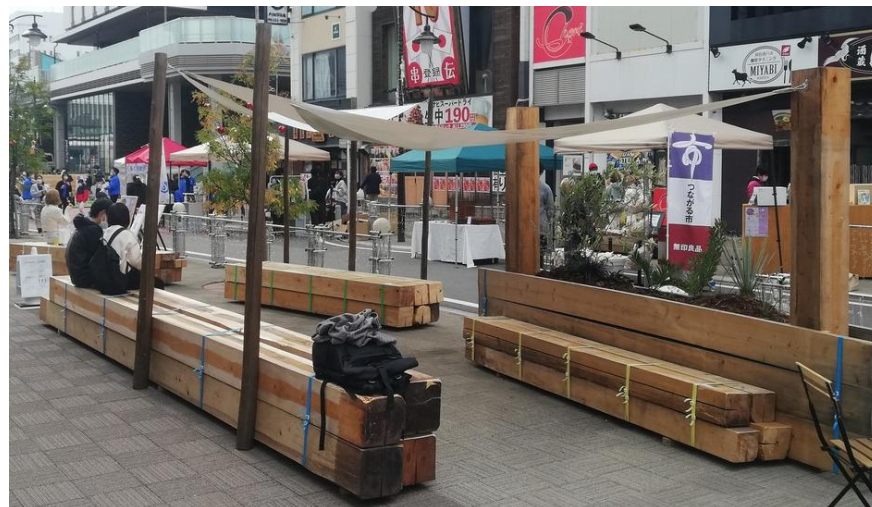
刈谷駅周辺花いっぱい運動(仮)



南桜街園やアクアモールなど商店街の道路などに、きれいな花を植えて、気分良く歩けるまちなみをつくる。また、道路に落ちているごみを少なくするため清掃活動などを行い、清潔で気分の良くなる歩行空間を維持する。

■ 具体的なアクションについて

カリマチストリートの活用(仮)



きたくる広場やカリマチストリートをより居心地の良い空間にするため、その活用方法を募集するアイデアコンペを開催したり、実際に椅子を置いてみる試み(パブリックチェア・プロジェクト)を行うなどして、にぎわいを生む。

■ 具体的なアクションについて

障がいのある方も受け入れるまちへ(仮)



障がいのある方が暮らしたり、楽しんだり、働いたりという日常生活に自然ととけこめるまちづくりを目指し、まずはアンケートを行いビジョンを作りながら、イベント開催や交流会など様々なアクションを起こしていく予定です。

■ そのほか、妄想段階のアクションについて

防災を考えるところみ(案)

例:3.11キャンドルナイト



子どもの遊び場づくり(案)

例:カリココKids DAY



歩きたくなるまちなか環境(案)

例:KAGARIBI(まちなかのアート展示)

2026年度、実際のアクションとして社会実験を行いながら、活動を持続できるグループ作りも目指していきます。